

# 令和2年度定時総会報告

令和2年度定時総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「みなし決議」(法人法58条)とした。

決議があったとみなされた日  
令和2年5月13日(水)

同意書数 49 (代議員総数49名)

## 議 題

第1号議案 令和元年度事業報告および決算報告に関する件

### その他報告

1. 令和2年度事業計画
2. 令和2年度収支予算

## 令和2年度定時総会決議事項及び報告事項

### 令和元年度事業報告

(公益目的支出計画実施報告含む)

#### I. 法人の状況

##### 1. 会員の異動

###### (1)令和元年度末の会員数

	会員数	正会員数
学生以外	24,973名	7,682名
学生	2,993名	1,958名
合計	27,966名	9,640名

###### (2)令和元年度に死亡確認をした会員数 94名

##### 2. 会議等の開催状況

###### (1)定時総会 令和元年5月11日(土)

平成30年度事業報告、決算報告、監査報告、役員改選について原案どおり満場一致で承認された。令和元年度事業計画、収支予算について報告した。

###### (2)理事会 5回

平成31年4月23日、令和元年5月11日、8月8日、10月21日、令和2年3月25日(みなし決議)

###### (3)監査 1回

平成31年4月18日

###### (4)役員会 4回

令和元年8月2日、10月17日、12月4日、令和2年3月6日

###### (5)工学部との協議会 1回

令和元年8月2日

#### 3. 会費の状況 (令和元年度の受取額)

##### (1)正会費

5,148,500円 (前年度 3,940,500円)

##### (2)終身会費

37,125,000円 (前年度 37,925,000円)

## II. 事業活動報告

### 1. 公益目的支出計画実施報告

#### 1. 令和元年度公益目的支出計画実施報告

当法人は、平成24年4月1日に一般社団法人に移行し、公益目的支出計画の実施完了まで9年の予定で事業を進めており、公益目的支出計画の実施完了までの間は、事業年度ごとに公益目的支出計画実施報告書を作成し、事業年度の経過後3ヶ月以内に山口県に提出(電子申請)することになっている。令和元年度は計画8年目で、概ね計画どおり実施した。公益目的事業収支差額はやや減少傾向にあるが、事業全体に及ぼす影響はないと思われる。令和元年度末の公益目的収支差額、公益目的財産残額を以下に示す。

H23認可時の公益目的財産額 130,976,447円

公益目的収支差額 117,457,957円

〃 (計画額) 118,400,000円

公益目的財産残額 13,518,490円

〃 (計画額) 12,576,447円

#### 2. 特定寄附

山口大学に対する支援

##### ①工学部運営支援

学生のためのトレーニングルームの整備経費の一部

## ②工学部教育支援

### ・常盤工業会奨学金

学部生32名、大学院生49名、「現代長州五傑」10名、計91名に支給された。

### ・人材育成支援

循環環境工学科、工学基礎教育、工学部に支援を行った。

## 3. 継続事業

### (1)人材育成支援助成（大学）

#### ①工学系数学統一試験実施部会への支援

山口大学工学部数学統一試験実施部会へ実施経費の一部を助成した。

#### ②工学系サークル活動への支援

「リダンダンシー」（橋梁デザインをして銅橋梁模型を製作。“ブリッジコンペティション”大会に参加）および「3K Lab.」（高校生を対象とした化学実験イベントを開催して環境問題について考えてもらう）に活動費の一部を助成した。

### (2)人材育成支援実施事業

令和元年度「常盤賞」の表彰を以下のとおり行った。

令和2年3月6日（金）に表彰式を行い、学業優秀者（学部学生14名、博士前期課程学生7名）並びに数学統一試験成績優秀者（1名）合計22名（正会員）を表彰し、記念品（図書カード）を贈呈した。

## 2. その他の事業

### 1. 山口大学工学部学生に対する教育支援事業

(1)常盤祭実行委員会へ実施費用の一部を助成した。

(2)「常盤賞」課外活動優秀者として常盤祭実行委員長（1名）の表彰を行った。

(3)常盤キャンパスワンコイン朝食事業の支援として、山口大学生協・山口大学工学部教育後援会・常盤工業会で経費を等分して負担した。

(4)「知情IT勉強会」への支援

令和元年6月22日開催の勉強会経費（主として講師の旅費）を支援した。

（「常盤賞」表彰式後の懇親会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。）

## 2. 学術文化交流振興に寄与する事業

### (1)第32回留学生交流会の開催

令和元年6月8日（土）に常盤工業会主催で第32回留学生交流会（スピーチ大会、懇親会）を開催し、宇部近郊の外国人留学生と日本人の交流を図った。留学生35人と日本人35人合計70人の参加があった。

(2)「宇部留学生交流会」主催行事の協賛開催および運営事務

月例夕食懇談会（4回）、年末交流会、ボーリング大会（2回）を共催として開催した。

(3)「宇部留学生交流会」への助成

宇部留学生交流会の事業費の一部を助成した。

(4)「宇部環境国際協力協会」への助成

宇部環境国際協力協会の事業費の一部を助成した。

### 3. 工学部創立80周年記念事業および工学部ホームカミングデー（共催）

各種行事について大学と協力して開催し、事業遂行のための経費の一部を支援した。また会員へのPRを行った。主行事の概要は以下のとおり。

(1)80周年記念学術講演会「大村 智先生講演会」（令和元年6月16日開催）

「未来を拓く若者たちに向けて～私の歩んできた道～」

(2)80周年記念特別講演会（講師 岡田徳久氏、生産53）（令和元年11月15日）

「世界の製造業で『モノづくり』に励む人々から教えられたこと」

(3)80周年記念交流会（卒業生・学生・教職員）（令和元年11月15日）

(4)80周年記念募金事業（会長が発起人の一人となり会員に協力依頼をし、関係書類を会誌に同封して送付。）

(5)ホームカミングデー行事（令和元年11月16日）として、工学部教員講演会、学生による研究成果ポスター展示、もちまき、キャンパスツアー等。

### 4. 会員相互の交流及び相互啓発に資する事業

(1)会誌刊行事業

以下のとおり、会誌「常盤」を発行した。ま

た、表紙題字デザインについて検討した。

①「常盤」83号（令和元年7月、全会員配布）、84号（令和元年12月・正会員配布）

②TOKIWA digest 83号・84号（カラー印刷12面、学生配布）

③「常盤」83号・84号WEB版（ホームページより発行）

## (2)地域同窓会交流事業

### ①地域同窓会代表者会議の開催

令和元年11月16日(土)(第3回工学部ホームカミングデーと同日)に開催した。本部役員16名、各地域同窓会26組織35名、ブロック代表者7名、宇部地区代議員5名計63名の出席があり、会議では出席の全地域同窓会の代表より活動報告等を行った。

### ②地域同窓会活動に対する支援金

地域同窓会(31地域)に対し通信費の支援、地域同窓会間交流費、他学部同窓会支部との交流費の支援を行った。

③各地域同窓会会合への本部役員、教員の参加  
地域同窓会総会(20地域)に本部役員(10件)および教員(20件)が参加した。

## (3)卒業記念品の贈呈

学部卒業生に祝辞文を同封し、記念品(名入れボールペン)を贈呈した。また、事務局からのお祝い文、常盤工業会リーフレット、住所連絡用ハガキ他行事案内文等を卒業生、博士前期課程修了生に配布した。(例年は、卒業証書授与時に配布するところ、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、大学より卒業証書等と一緒に帰省先に送付となった。)

## 5. 収益事業(会館施設貸付管理事業)

### テナント事業

①「宗本恭子」と契約を締結した。(令和元年7月1日付)

②「1.9亭食堂」のトイレドアの修繕工事を行った。

## 6. 会館施設の改修、修繕、設備および備品の更新 会議室Eの空調機、応接室空調機、和室トイレ壁面タイル、駐車場フェンス、花壇破損箇所、応接室エアコンの修繕工事を行った。

## 7. その他

### 卒業生対象講座の開催について

令和元年度第4回理事会(令和元年10月21日開催)で、卒業生対象講座「常盤アドバンスドレクチャー in Tokyo」を令和2年度の事業として開催することが決議された。令和元年12月に実行委員会(委員長:石田繁夫、機械45)を組織し、協議を重ね、第1回講座を令和2年6月20日(土)に開催することとし準備作業を進めた。

## Ⅲ. 法人運営管理

### 1. 一般社団法人移行後の行政庁への対応

令和元年6月4日に山口県に公益目的支出計画実施報告書の提出(電子申請)を行った。

### 2. 山口大学同窓会関連

(1)山口大学同窓会分担金支出を行った。

(2)山口大学同窓会理事会(令和元年7月26日)へ担当役員が出席した。

(3)霜仁会総会(令和元年5月9日)、鳳陽会総会(令和元年6月8日)に会長が出席した。

### 3. 財政基盤の強化および会員動向調査

#### (1)会費増収のための会員への働きかけ

入学式後の保護者会(平成31年4月3日)において常盤工業会リーフレットを配布し、会長より常盤工業会の事業内容を説明し、会費納入のお願いをした。また、会誌やホームページで活動内容を紹介し、会費納入のお願いをした。

#### (2)会員動向の把握

①新卒者に配布する卒業記念品に事務局からのお祝い文、リーフレット(地域同窓会組織の紹介)と現住所連絡用のハガキを同封した。

②学生時のアドレスを使って常盤工業会宛に現住所を連絡してもらう趣旨のメールを5月に大学より配信してもらった。

③現住所調査のため帰省先(H29卒~H31卒の826名)へ往復はがきを送付した。

## 4. その他

### 「台風19号災害」義援金

宇部日報社を介して日本赤十字社へ義援金100,000円を送った。

# 令和元年度決算報告

## 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位 円)

科目	A R1決算額	BH30決算額	増減 (A-B)
一般正味財産増減の部			
I 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会費収入(受取額)	5,148,500	3,940,500	1,208,000
〃 (前受会費繰入額)	2,885,000	1,100,500	1,784,500
15年会費収入(受取額)	0	30,000	△ 30,000
〃 (前受会費繰入額)	13,828,000	5,830,000	7,998,000
終身会費収入	37,125,000	37,925,000	△ 800,000
(受取会費 小計)	58,986,500	48,826,000	10,160,500
会館施設貸付管理事業収益	7,593,750	11,038,345	△ 3,444,595
雑収益			
受取利息	3,458	6,857	△ 3,399
雑収益	69,285	172,055	△ 102,770
(雑収益 小計)	72,743	178,912	△ 106,169
経常収益 合計	66,652,993	60,043,257	6,609,736
(2) 経常費用			
①事業費			
1 実施事業費			
特定寄附	13,700,000	13,700,000	0
継続事業	749,200	776,566	△ 27,366
2 会館施設貸付管理事業費			
会館施設貸付管理事業経費	518,069	3,926,445	△ 3,408,376
租税公課	71,000	71,000	0
3 その他事業費			
学生支援事業助成費	849,302	878,951	△ 29,649
学術文化交流振興事業費	593,173	670,921	△ 77,748
工学部創立80周年記念	569,094	0	569,094
ホームカミングデー	378,206	433,616	△ 55,410
会誌刊行事業費	6,525,071	5,555,860	969,211
地域同窓会交流事業費	3,595,613	3,113,024	482,589
卒業記念品	502,700	774,144	△ 271,444
会員増強対策	0	0	0
4 共通経費			
通信費	152,988	127,094	25,894
機器使用料	81,648	81,648	0
事務消耗品費	159,555	556,971	△ 397,416
支払手数料	138,595	102,670	35,925
給与・手当	7,496,630	5,768,830	1,727,800
福利厚生費	1,106,949	844,933	262,016
中退共掛け金	100,800	100,800	0
租税公課	1,393,958	1,393,373	585
委託業務費	897,998	890,902	7,096
修繕費	455,754	684,216	△ 228,462
損害保険料	159,978	159,978	0
衛生費	74,050	89,288	△ 15,238
消耗品費	13,813	42,036	△ 28,223
電灯電力費	696,344	721,942	△ 25,598
水道光熱費	159,863	141,067	18,796
減価償却費	2,442,997	2,628,066	△ 185,069
(事業費 計)	43,583,348	44,234,341	△ 650,993
②管理費			
通信費	221,010	157,692	63,318
機器使用料	15,552	15,552	0
事務消耗品費	30,392	106,090	△ 75,698
支払手数料	323,367	152,480	170,887
給与・手当	1,427,929	1,098,825	329,104
福利厚生費	210,848	160,940	49,908
中退共掛け金	19,200	19,200	0



印刷費	410,220	308,556	101,664
会議費	271,834	219,999	51,835
旅費交通費	1,164,185	1,207,690	△ 43,505
慶弔費	0	10,000	△ 10,000
租税公課	35,742	35,727	15
委託業務費	23,026	22,844	182
修繕費	11,686	17,544	△ 5,858
損害保険料	4,102	4,102	0
衛生費	1,899	2,289	△ 390
消耗品費	354	1,078	△ 724
電灯電力費	17,855	18,511	△ 656
水道光熱費	4,099	3,617	482
山口大学同窓会分担金支出	500,000	500,000	0
雑費	413,782	551,260	△ 137,478
減価償却費	62,641	67,386	△ 4,745
(管理費 計)	5,169,723	4,681,382	488,341
経常費用 合計	48,753,071	48,915,723	△ 162,652
経常増減額	17,899,922	11,127,534	6,772,388
II 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	0
経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	17,899,922	11,127,534	6,772,388
一般正味財産期首残高	284,190,649	273,063,115	11,127,534
一般正味財産期末残高	302,090,571	284,190,649	17,899,922
正味財産期末残高	302,090,571	284,190,649	17,899,922

(注) 指定正味財産に該当するものなし

### 貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位 円)

科 目	A R1年度末	B H30年度末	増減 (A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	92,947,971	79,653,764	13,294,207
仮払金	87,527	76,347	11,180
未収金	3,000	51,000	△ 48,000
流動資産 合計	93,038,498	79,781,111	13,257,387
2. 固定資産			
(特定資産)			
減価償却引当預金	109,994,476	107,488,838	2,505,638
(その他の固定資産)			
土地	64,273,000	64,273,000	0
建物	48,076,689	50,342,082	△ 2,265,393
建物付属設備	900,153	972,115	△ 71,962
什器備品	199,391	367,674	△ 168,283
(その他の固定資産 合計)	113,449,233	115,954,871	△ 2,505,638
固定資産 合計	223,443,709	223,443,709	0
資産の部 合計	316,482,207	303,224,820	13,257,387
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	112,019	153,718	△ 41,699
預り金	181,617	199,453	△ 17,836
前受会費 (正会費)	0	2,885,000	△ 2,885,000
前受会費 (15年会費)	0	13,828,000	△ 13,828,000
仮受金	12,400,500	400,500	12,000,000
預り保証金 (敷金)	1,697,500	1,567,500	130,000
負債の部 合計	14,391,636	19,034,171	△ 4,642,535
III 正味財産の部			
一般正味財産	302,090,571	284,190,649	17,899,922
(うち特定資産への充当額)	109,994,476	107,488,838	
正味財産 合計	302,090,571	284,190,649	17,899,922
負債及び正味財産 合計	316,482,207	303,224,820	13,257,387

(注) 実施事業資産なし

## 令和2年度事業計画

### 公益目的支出計画（公益目的支出計画9年目）

1. 特定寄付（山口大学）
  - (1)工学部運営支援として 700,000円
  - (2)工学部教育支援金として 13,000,000円  
（内訳：常盤工業会奨学金 10,900,000円、人材育成等支援2,100,000円（機械工学科・社会建設工学科・応用化学科））
2. 継続事業
  - (1)人材育成支援事業（大学）  
工学系サークル活動の支援として300,000円助成。
  - (2)人材育成支援実施事業（常盤工業会が主催）  
「常盤賞」表彰 200,000円
  - (3)公益目的支出計画の状況  
前年度末公益目的財産残額 13,518,490円  
R2年度支出見込額 14,200,000円  
R2年度末公益目的財産残額 △681,510円  
（令和2年度末で終了予定）

## I. 事業活動

### I-1 工学に関する教育研究の振興ならびにこれらに関する人材育成に資する事業（公益事業）

#### 1. 講演会・講習会等の開催

- (1)常盤アドバンスドレクチャー in Tokyo「未来を切り開く技術開発」  
第1回講座を以下のとおり、常盤工業会主催、山口大学工学部共催で開催する。運営は、実行委員会（委員長：石田繁夫、機械45）および関東常盤会が行う。  
受講対象 山口大学工学部卒業生  
開催日 令和2年6月20日(土)  
会場 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター国際会議室  
講座 I 「AIに関する研究動向と応用事例」  
問普 真吾 先生  
（工学部知能情報工学科准教授）  
講座 II 「ノーベル化学賞を受賞したリチウムイオンバッテリーの研究開発」  
實近 健一氏（工化52）  
（2019ノーベル化学賞受賞の吉野彰博士の共同研究者）

- (2)第4回工学部ホームカミングデー「卒業生講演会」  
山口大学工学部主催、常盤工業会共催で以下のとおり開催する。  
受講対象 山口大学工学部卒業生・学生  
開催日 令和2年11月14日(土)  
会場 山口大学工学部D講義棟  
講演概要 未定

#### 2. 講演会・講習会等開催に対する支援

- 「ちじょうIT勉強会」の支援  
「ちじょうIT勉強会」運営委員会（リーダー：知情H27 畑野亜麻衣）が実施する勉強会に係る経費を助成する。勉強会の概要は以下のとおり。  
受講対象 山口大学学生  
開催日 令和2年6月・10月  
会場 山口大学工学部内  
概要 初学者向けIT系勉強会  
（セミナー・ワークショップ・ライトニングトーク）

#### 3. 山口大学工学部の支援および連携事業

- (1)山口大学工学部への寄付  
工学部施設充実、常盤工業会奨学金、各学科への人材育成等（R2年度は機械工学科・社会建設工学科・応用化学科）のための寄付を行う。
- (2)山口大学工学部との連携事業  
第4回工学部ホームカミングデー行事に共催という立場で取り組み、経費の一部を負担する。令和2年度は11月14日(土)（地域同窓会代表者会議と同日）に開催する。

#### 4. 工学部学生支援事業

- (1)「常盤賞」表彰  
学部および博士前期課程学生の学業優秀者、課外活動優秀者を表彰し、記念品を贈呈する。表彰対象は常盤工業会正会員とし、選考は工学部が行う。
- (2)学生が企画するプロジェクト活動の支援  
応募期限を6月中旬とし、7月中旬に面談を行い、採択された団体に活動費の支援を行う。
- (3)「常盤祭」支援  
常盤祭実行委員会に対し、実施経費の一部を支援する。
- (4)常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援  
工学部教育後援会・山口大学生生協・常盤工業会で経費を分担して支援する。

## I-2 会員交流親睦および相互啓発に資する事業（共益事業）

### 1. 会誌刊行事業

会誌「常盤」冊子版、ダイジェスト版(学生用)、WEB版を年2回(7月、12月)発行する。85号より表紙デザインをリニューアルする。企画、編集は、会誌「常盤」編集委員会が行う。

### 2. 学術文化交流振興事業

#### (1)地域の留学生と日本人との交流

宇部近郊の留学生を対象に留学生スピーチ大会、第33回留学生交流会を常盤工業会主催で実施する。また、「宇部留学生交流会」主催行事については共催で実施する。

#### (2)対外支援

##### ①「宇部留学生交流会」の支援

事業費の一部を助成する。また宇部留学生交流会の運営事務を常盤工業会事務局で行う。

##### ②「山口大学同窓会」の支援

理事会への出席、事業に対する協力、分担金の支出、他学部同窓会との交流を行う。

##### ③「宇部環境国際協力協会」の支援

法人会員として会費を支払う。

### 3. 会員交流事業

#### (1)地域同窓会交流事業

##### ①地域同窓会代表者会議の開催

工学部ホームカミングデー開催日と同日の令和2年11月14日(土)に開催し、地域同窓会相互、地域同窓会と本部役員との情報交換を行う。また、会議後に懇親会を行い、地域の会員と学生、母校教員と交流を行う。

##### ②各地域同窓会の活動に対する支援

地域同窓会に対し、総会開催のための通信費、交流費等の資金支援、総会案内に使用する宛名ラベルの無料提供等を行う。

##### ③交流活動（地域同窓会と本部、工学部）

各地域同窓会総会に本部役員が参加し、本部と地域の情報交換を行う。また大学教員へ出席依頼をし、地域同窓会と母校との情報交換を行う。教員に対しては卒業生に地域同窓会出席の働きかけをしていただくことで、若い世代の卒業生の地域同窓会への関心を高める。

#### (2)工学部ホームカミングデー

卒業生に案内を行い、学生や教職員との交流を促進する。

#### (3)学生との交流

##### ①入学時

入学生にTOKIWA digest、保護者に常盤工業会紹介リーフレット、会誌を配布する。保護者会には会長が出席し常盤工業会の紹介を行う。

##### ②2年次学科別オリエンテーション

常盤工業会会館の紹介として「会館のしおり」を配布する。

##### ③卒業時

会長祝辞文および記念品を贈呈（学部卒業生のみ）する。また、住所連絡用はがき、事務局からのお祝い文、リーフレット（地域同窓会紹介）、その他案内文等を配布する。

##### ④総会および地域同窓会代表者会議懇親会

懇親会に学生を招待し、卒業生と学生の交流をはかる。

### 4. 常盤工業会会館の有効活用および維持管理（共益事業・収益事業）

#### (1)会館の有効活用

常盤工業会の活動拠点として事務局を置いている常盤工業会会館を有効活用していく。

#### (2)会館施設の維持管理

西側駐車場境界壁改修工事（補強）を行う。その他、会館老朽化にともなう修繕については必要に応じて行う。

## II. 法人管理運営部門

### 1. 一般社団法人移行後の行政庁への対応

公益目的支出計画が終了するまでの間は、事業年度終了後3ヵ月以内に山口県に公益目的支出計画実施報告書の提出（電子申請）を行なう。

### 2. 会員増強対策の推進

会員の住所把握、会費納入促進のため、以下の方法でアプローチする。

#### ①会誌、ホームページの活用

②学生時のメールアドレスに工学部から住所連絡のお願い

③会員増強対策プロジェクト活動（2018～2020年度）

## 令和3年度代議員選挙

告示 令和2年8月3日(月)  
(常盤工業会ホームページ)

### 立候補受付期間

令和2年8月10日～9月10日

詳細はホームページを参照ください。

## 令和2年度収支予算

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで (単位 円)

科 目	A 令和2年度予算	B 前年度予算	差異 (A-B)
<b>I 事業活動収支の部</b>			
(1) 事業活動収入			
会費収入			
正会費収入	5,000,000	4,597,000	403,000
15年会費収入		4,734,000	△ 4,734,000
終身会費収入	38,000,000	40,000,000	△ 2,000,000
(会費収入 小計)	43,000,000	49,331,000	△ 6,331,000
会館施設貸付管理事業収入	7,690,000	7,559,000	131,000
雑収入			
受取利息収入	10,000	10,000	0
雑収入	200,000	100,000	100,000
(雑収入 小計)	210,000	110,000	100,000
事業活動収入 合計	50,900,000	57,000,000	△ 6,100,000
(2) 事業活動支出			
① 事業費支出			
1 工学教育・人材育成事業(公益)			
講演会・講習会	460,000	0	460,000
大学支援・連携事業	13,850,000	15,350,000	△ 1,500,000
学生支援事業	1,880,000	1,800,000	80,000
2 会館施設貸付事業(収益)			
会館施設貸付管理事業経費	749,000	700,000	49,000
租税公課	71,000	71,000	0
3 交流事業(共益)			
会誌刊行事業費	6,400,000	6,280,000	120,000
学術文化交流振興事業	1,090,000	1,090,000	0
地域同窓会交流事業	3,780,000	3,620,000	160,000
会員交流事業	1,120,000	955,000	165,000
4 共通経費(1~3)			
通信費	130,000	130,000	0
機器使用料	81,700	81,700	0
事務消耗品費	252,000	252,000	0
支払手数料	160,000	126,000	34,000
給与・手当	7,728,000	7,728,000	0
福利厚生費	1,319,000	1,420,000	△ 101,000
租税公課	1,462,500	1,462,500	0
委託業務費	975,000	897,000	78,000
修繕費	682,500	682,500	0
損害保険料	165,800	165,800	0
衛生管理費	97,500	97,500	0
消耗品費	50,000	97,500	△ 47,500
電灯電力費	780,000	780,000	0
水道光熱費	156,000	156,000	0
② 管理費支出			
通信費	220,000	220,000	0
機器使用料	15,500	15,500	0
事務消耗品費	48,000	48,000	0
支払手数料	210,000	174,000	36,000
給与・手当	1,472,000	1,472,000	0
福利厚生費	251,000	270,000	△ 19,000
印刷費	240,000	350,000	△ 110,000
会議費	200,000	200,000	0
旅費交通費	1,300,000	1,300,000	0
租税公課	37,500	37,500	0
委託業務費	25,000	23,000	2,000
修繕費	17,500	17,500	0
損害保険料	4,200	4,200	0
衛生管理費	2,500	2,500	0
電灯電力費	20,000	20,000	0
水道光熱費	4,000	4,000	0
雑費	250,000	250,000	0
(消耗品費)		2,500	△ 2,500
(慶弔費)		50,000	△ 50,000
(会員増強対策事業)		500,000	△ 500,000
事業活動支出 合計	47,757,200	48,903,200	△ 1,146,000
事業活動収支差額	3,142,800	8,096,800	△ 4,954,000
<b>II 投資及び財務収支の部</b>			
投資及び財務活動収入	0	0	0
投資及び財務活動支出	2,388,141	2,505,638	△ 117,497
投資及び財務活動収支差額	△ 2,388,141	△ 2,505,638	117,497
<b>III 予備費支出</b>	1,500,000	500,000	1,000,000
収支差額 合計	△ 745,341	5,091,162	△ 5,836,503
当期収支差額	△ 745,341	5,091,162	△ 5,836,503
前期繰越収支差額	78,646,862	60,746,940	17,899,922
次期繰越収支差額	77,901,521	65,838,102	12,063,419